

施策評価シート(令和3年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0206	政策名	健康づくりの推進		施策主管課	健康づくり課		課長名	長山 義博			
政策の目指す姿		心身ともに健康に暮らしています										
施策No	01	施策名	健康づくりの支援		関係課名							
施策の目指す姿		健康に対する意識が高まっています										
現状と課題												
【現状】 ・朝食をとる人の割合については、学童期で増加し改善している一方で20歳、30歳代の若い世代で改善されていない状況です。 ・健康のため食事に気をつけている市民の割合は約5割、意識的に運動をしている市民の割合は約3割と、健康への意識が低い状況です。 ・平成29年の状況では、花巻市民の国保加入者の13.1％が糖尿病と診断されています。特定健診未受診者や医療機関未受診者の存在を勘案すると、この割合がさらに高くなることが想定されます。 ・本市の自殺死亡率は横ばい傾向ですが、岩手県、全国の値より上回っています。 ・感染症の発生や蔓延を予防するため、法に基づく予防接種を実施しています。												
【課題】 ・幼児から若い世代に対し、将来の健康問題が発生する可能性を抑えるために、朝ごはんを食べる習慣の啓発が必要です。 ・健康的な食事や運動習慣の必要性について理解していても行動に移せない人へ、食事の方法や運動の習慣化の啓発が必要です。 ・糖尿病についての正しい理解と、健（検）診による早期発見、早期受診のほか、糖尿病予防のための食生活や運動などの生活改善への取組が必要です。 ・体の健康のほか、「こころの健康（自殺予防）」への取組も重要になっています。 ・予防接種について対象者が予防接種の必要性を理解し接種されるよう、周知する必要があります。 ・治療により脱毛等外見の変化が生じたがん患者が、安心して療養生活をおくる、また治療と仕事の両立など社会参加に取り組むための支援が必要です。 ・新型コロナウイルス感染症のまん延予防に対して早急な対策が必要です。												
前年度の評価の振り返り												
前年度評価時の今後の方向性												
・健康課題の解決に向け、医師会や歯科医師会、薬剤師会をはじめとする関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら健康づくり講座等の対面型事業の継続実施を図るほか、講座や運動の動画配信など、ICTを活用して幅広い年代へ普及啓発を図る。 ・食生活改善推進員による生活習慣病予防に関する対面式での知識の普及を新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら実施するほか、全国的に広く活用されているアプリ「クックパッド」を活用し、食育情報を広く紹介・発信していく。 ・検診受診率向上に向け、委託先機関と協働しながら、感染予防対策をさらに徹底し、その取り組みを検診案内通知と合わせてお知らせするなど、住民が安心して受診できるよう努めるとともに、土日や夕方などにも健診を実施することで、受診しやすい環境づくりに取り組む。												
反映状況												
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面による講座は実施できなかったものの、健康アップ講座として医師・歯科医師の講話を広報紙面に掲載したほか、栄養に関する講話や運動の実演動画をWebにより配信することにより、広く普及啓発を図ることができた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮しながらの開催となったため、開催回数は多くなかったものの、食生活改善推進員による伝達講習会を23回実施したほか、「クックパッド」アプリに健康づくりに資する献立のレシピ9品を掲載するなど、Webを通じて食育情報を広く紹介・発信した。 ・検診受診率向上に向け、委託先機関と協働して換気や消毒、体調確認等の感染予防対策を徹底するとともに、その取り組みを検診案内時に周知しながら、受診者の不安解消に努めるとともに、土日・夕方の検診も実施し、受診しやすい環境づくりに努め、受診者数の引き上げにつなげた。												
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組												
(1)健康づくりや健康寿命を延ばす取り組みの支援 ・食事や運動、正しい健康情報の普及啓発：健康アップ講座の開催 ・望ましい食生活や運動の実践など健康づくりへの支援：健康アップ講座、食育講座の開催、Webを活用した普及活動 ・医師会や歯科医師会など関係機関と連携した各種健康講座などの実施：健康アップ講座の開催 ・口腔機能の維持の重要性など、歯科保健の普及啓発と歯科健（検）診の実施：成人、妊婦歯科検診の実施 ・各年代に向けた食育講座などによる食育の普及啓発：食育講座、伝達講習会の開催 ・花巻市自殺対策計画に基づいたこころの健康づくり：ゲートキーパー養成講座の開催 ・がん患者に対し、医療用補助具（医療用ウィッグ、乳房補正具）の購入費用の一部助成：医療用ウィッグ購入費用補助、R4は乳房補正具の購入費用補助を予定 (2)生活習慣病の予防の推進 ・生活習慣病予防に向けた自己管理（セルフケア）の普及啓発と支援：健康づくりフロンティア事業、自動血圧計の貸出 ・健（検）診の受診率向上と個別の特性に応じた保健指導の実施：未受診者への受診勧奨、特定保健指導の実施 ・花巻市糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づいた保健指導の実施：対象者への保健指導の実施 (3)感染症予防の推進 ・予防接種の実施と普及啓発：予防接種の実施、中学生以下のこども及び妊産婦のインフルエンザ予防接種へ費用助成、市ホームページ、広報はなまき、コミュニティFMや保育園へのチラシによる啓発の実施 ・新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種体制の整備と接種の実施及び各公共施設における感染予防物品の確保、PCR検査費用や検査キット購入費用の助成：市内4地域での集団接種及び医療機関における個別接種体制の確保、新型コロナウイルスワクチン接種、消毒用アルコールや抗原検査キット等の確保、高齢者施設新規入所者・就労者や市外からの転入生へのPCR検査費用助成、宿泊業・飲食事業者に対する抗原検査キット購入費用の助成												
2 成果指標												
成果指標名	成果指標設定の考え方		成果指標の測定方法		単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
食事に気を付けている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、普段から食事に気をつけているかどうかを示す指標		出典：市民アンケート 問：あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 （１）～（１０）のなかで（４）食事に気を付けているを選んだ市民の割合		％	目標値	60.60	62.40	62.40	62.40	50.60	50.60
						実績値	55.60	54.80	47.50	45.70		
健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、意識的に運動しているかどうかを示す指標		出典：市民アンケート 問：《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 （１）～（１０）のなかで（３）健康増進のために意識的に運動しているを選んだ市民の割合		％	目標値	40.30	42.20	34.00	35.00	36.00	37.00
						実績値	33.90	33.10	27.60	28.10		
定期的に健康診断などを受けている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、定期的に健康診断を受診しているかどうかを示す指標		出典：市民アンケート 問：《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 （１）～（１０）のなかで（１）定期的に健康診断などを受けているを選んだ市民の割合		％	目標値	73.50	74.00	76.50	76.70	76.90	77.00
						実績値	76.10	76.77	70.10	72.00		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	■成果指標「食事に気をつけている市民の割合」・・・【達成度c】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各地域での食生活改善伝達講習会や市内企業を対象とする食育教室など、対面でふれあいながら普及啓発を図る場が前年度よりもさらに減少した。Webを通じた食育啓発（クックパッドへの献立掲載）を実施したが、その取組みや情報へのアクセス方法などの市民への周知が不足し、効果を十分に発揮できなかったことも要因と考える。（食生活改善伝達講習会：R2 34回、R3 23回） ■成果指標「健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合」・・・【達成度c】 ・全体では、前年度から増加がみられるが、年代別のクロス集計では、30歳～59歳で前年度より減少している。この年代は働き盛りの世代であり、普段の生活で運動の機会が難しいことに加え、コロナ禍における外出機会の減少が要因の一つと考えられる。 ■成果指標「定期的に健康診断などを受けている市民の割合」・・・【達成度b】 ・コロナ禍は続いており、検診控えをする方もいる中、目標値にはまだ達していないものの、受診者は増加に転じた。感染症予防対策をしっかりと講じながら、土日・夕方の検診を含め、ほぼ当初の計画通り実施できたこと、また、追加検診も実施することができた。

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか ・（健康診査事業）パンフレットや広報、受診の案内のほか、特定健診に関しておかりつけ医から受診勧奨チラシを配布いただくなど啓発を進め、当初計画した健（検）診回数に加え、追加健（検）診も実施した結果、コロナ禍の中で受診者は増加に転じたが、受診控えの傾向は根強い。がん検診の重要性と、感染拡大防止対策をしっかりと講じて検診を実施していることをさらに広報するとともに、土日や夕方の検診を設け、住民が受診しやすい環境を引き続き維持していく必要がある。 ・（感染症予防事業）マスク着用や手洗い等の新型コロナウイルス感染症予防対策が功を奏し、インフルエンザの流行が抑えられていると思われ、インフルエンザ予防接種率は低下しているが、麻疹・風疹の予防接種率も目標値に届いていないことから、引き続き予防接種を含めた感染症予防に対する正しい知識や情報を、適切な時期を捉えて周知し、予防接種の接種率向上を図る必要がある。
新たに取り組むべき事業はないか ・（食生活改善推進事業）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食育の啓発と情報発信の一環としてクックパッドへの健康献立の掲載など、Webを活用した啓発を開始したが、一方で、食生活改善推進委員による地元での食生活改善伝達講習会や企業などに栄養士が出向き実施する食育講座など、対面での普及啓発活動はほとんど実施できなかったことから、今後は感染状況を踏まえながら、これらの事業を可能な限り再開するとともに、市民とふれあいながら食育を伝達できる新たな機会をさらに創設する必要があると考える。 ・（健康教育相談事業）「健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合」の市民アンケート結果からは、前年度より増加がみられるものの、働き盛りの世代の割合が引き続き低いことから、市民の運動に取り組むきっかけとなり、運動の習慣化を図るための新たな取組みが必要である。

5 施策の総合的な評価

課題
・食事に気を付けている市民の割合は、コロナ禍前から減少傾向となっており、令和3年度よりWebによる啓発活動を開始したものの、増加に転じていない。コロナ感染拡大防止の観点から、人と人が触れ合うなかで食育の普及啓発を行う場が不足している。 ・働き盛り世代において、肥満やメタボリックシンドロームの予防に欠かすことのできない「運動」の取り組みが不足している。運動に取り組むきっかけづくりと運動の定着を進める取り組みが必要である。 ・検診事業については、コロナ禍の中にあっても従来どおり検診機会の創設と勧奨を行っており、受診率は前年度から回復に転じたが、やはり受診控えの傾向は認められる。
今後の方向性 ・「クックパッド」アプリは、全国的に広く利用されており、本市でもこれを活用した食育の普及啓発を開始したが、この活動の市民への周知が十分ではないことから、掲載する献立をさらに拡充するとともに、この取組み及びアクセス方法等の周知をさらに進める。また、現状のコロナ感染状況下においては、徐々に人と人との交流再開の兆しが見えており、この中において、スーパーなど地域の住民が集まる場にブースを設け、地域食生活改善推進委員による人と人との交流の中での食育普及活動を新たに展開していく。 ・働き盛り世代も気軽に運動に取り組むことができるよう、運動の機会の創出と習慣化するまでの継続支援の一環として、ウォーキングに着目したインセンティブ事業を新たに実施する。スマートフォンアプリにより、どなたでも気軽に参加できる仕組みとする。 ・検診受診率向上に向け、各検診会場におけるコロナ感染拡大防止対策の徹底と、このことを交えて、検診の重要性を市民に粘り強くお知らせするとともに、土日、夕方の検診機会を引き続き設けながら、受診しやすい環境づくりに取り組む。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		成果
	事業内容(活動実績)		対象	意図	
			直結度		
010	健康教育相談事業費	健康づくり	一致	直結	B
	健康相談や健康教育を実施 (健康講座、健康相談の参加者数1,270人)				
	A				
020	健康づくり推進事業費	健康づくり	一致	間接・補完	B
	保健推進委員による地域への普及啓発を実施 (保健推進委員の事業協力者数1,045人、献血本数(200ml)4,320本)				
	B				
030	食生活改善推進事業費	健康づくり	一致	直結	C
	食生活改善推進員により生活習慣病予防に関する知識の普及を実施 (食生活改善伝達講習会23回)				
	A				
040	健康診査事業費	健康づくり	一致	直結	C
	各種がん検診を実施 (受診率大腸がん34.2%、乳がん38.3%、子宮頸がん29.4%)				
	A				
050	歯科保健事業費	健康づくり	一致	直結	B
	成人歯科健診、歯周病予防検診を実施 (歯周病予防検診受診率16.9%)				
	A				
060	保健センター整備事業費	健康づくり	間接・少数	間接・補完	-
	公共施設マネジメント計画に基づきR2年度～R5年度に花巻保健センターの施設改修を行う。令和3年度は花巻保健センターの空調設備改修(第1期)を実施。				
	C				
070	感染症予防対策事業費	健康づくり	一致	直結	C
	予防接種法により各種予防接種を実施 (風しん・麻しん混合2期の接種率93.0%、インフルエンザ予防接種率(こども)59.4%)				
	A				
080	医療用補正具購入支援事業費	健康づくり	一致	直結	-
	がん患者に対し、医療用補正具(ウィッグ)購入費の一部を補助 (医療用ウィッグ購入補助33人)				
	A				
110	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	新型コロナ	一致	直結	-
	市内4地域での集団接種及び医療機関における個別接種体制を確保し、新型コロナワクチン接種を希望する市民へ接種を実施				
130	新型コロナウイルス感染症検査費助成事業費	新型コロナ	間接・少数	直結	-
	高齢者施設新規入所・就労者や市外からの転入生(希望者)のPCR検査費用助成及び宿泊業や飲食事業者に対する抗原・PCR検査キット購入費用の助成(PCR検査費用助成99件、検査キット購入助成2件)				
	B				
140	感染症予防緊急対策事業費	新型コロナ	間接・少数	直結	-
	市施設や教育・福祉施設等で使用するための消毒用アルコール、抗原定性検査キットを感染予防物品として確保 (消毒用アルコール170缶(2,890リットル)、抗原定性検査キット1,810回分)				
	B				
160	公共施設等感染症予防対策事業費	契約管財	間接・少数	間接・補完	-
	公共施設の感染症予防対策 (市議場空調設備改修)				
	C				